
律儀な猫に気紛れ烏

サンコン0

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

律儀な猫に気紛れ烏

【Nコード】

N69370

【作者名】

サンコン0

【あらすじ】

僕は見た。

灼熱の地獄から差し伸べられる、希望と絶望の手を・・・
とある少女との出会いから始まる幻想と現実の物語！

律儀な猫に気紛れ烏

律儀な猫に気紛れ鳥 プロローグ 「真紅の出会い」

これは夢なのだろうか？

それとも現実なのだろうか？

栗色の瞳に漆黒の髪をした一人の少年は炎の紅い光に照らされながらそんな事を思う。

少年は燃え盛る自分の帰るべき家の中にいる。

その家の周りには騒ぎを聞き付けた野次馬と炎で溢れかえっている。

少年ははそんな光景を見て何を思ったのだろうか。

燃え盛る地獄の最深部へ歩み寄っていく。

それを見た野次馬達はそれを止めに入ろうとする。

しかし、それを阻止するかのようには、少年の退路を塞ぐようにその場に焼けた木々が倒れている。

少年は再び周りの光景を見る。

さつきと何も変わらない。

燃え盛る灼熱の炎に何か叫んでいる野次馬も。

日常のとあるページでしかない。

ただ運が悪くて、たまたま自分が世界の中のほんの少しの不幸に見舞われているだけだ。

—だからこれに絶望してはいけない 少年は強く思う。

しかしその思いとは対照的に身体は泣いている。苦しんでる。痛がっている。

その事実には少年は泣きそうになる。

いや、もう既に泣き叫んでいる。

涙も声も枯れるほど泣き、叫ぶ。

「大丈夫だよ。今助けるね？」

不意に何処からか女の子の声がした。

優しそうで、それでいて何だか活気のある声だ。
すると、燃え盛る炎にひびがはいる。

するとそのひびをこじ開けるように、中から女の子が現れる。

真紅の瞳に真つ赤な髪、背丈は少年程度だろうか。

その女の子は誰の目から見ても純粹にかわいい。

女の子は少年に向かってそつと手を差し延べる。

そのあまりにも突然で希望に溢れた小さな手を見て、少年は少し戸惑う。

「大丈夫よ、何も恐がらなくていい。あなたを救う ためにここまで来たんだ から」

そんな事を女の子は言う。

「なんで？なんで僕なんかを・・・」 少年はありのままの疑問を言葉にする。

その問い掛けに女の子は優しい笑みを浮かべ、

「あなたは私の初恋の人だから・・・かな？」

少年の顔が真つ赤になる。

炎の紅い光に照らされている女の子の頬も微かに紅く染めあがるのがわかる。

「さ、もう時間がないから 早く行くよ？」

「いや、でも父さんや母さんが・・・」

「もう・・・あなたの両親は死んじゃったんだ」

女の子は悲しそうな表情をいや、その瞳には涙が溢れている。

「そうなんだ・・・」

少年も泣きそうになるが、涙は枯れてもう出てこない。

「でも安心して？その悲しみをとってあげるからだから泣かないで・・・」

「・・・」

少年の心に悲しみや怒りの感情が溢れてくる。

「これも日常なんだな」

少年は自分にそう言い聞かせる。

そうしないと自分が壊れてしまいそうになるから。

少年はそれらの感情や思いを女の子に気付かれないように隠す。しかし、それを見透かしたように女の子の口が開く。

「ごめんね。本当にごめんね」

その言葉を聞いた少年は目の前が滲んでしまう。

「女の子一人も泣かしてしまうのか・・・!」

少年はその場にうずくまる。

―ちくしょう・・・ちくしょう!

「大丈夫だよ。今、その苦しみをとってあげるね?」

再び女の子が手を差し延べてくる。

しかし、今度は少年の頭に手を置く。

「~~~~」

女の子が何かを呟いく。

すると、それまで紅かった少年の視界が黒く染まっていく。

―なんだかあったかいな・・・。あれ?そういえば僕、何してたんだっけ? あれ?・・・

そこで少年の意識は途絶える。

女の子の言葉を残して。

『大好きだよ、慎夜・・・』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6937o/>

律儀な猫に気紛れ烏

2010年11月3日23時05分発行